

Johann Sebastian Bach Messe in h-moll

J.S.バッハ ミサ曲 短調

富士ベートーヴェンコーラス 第7期演奏会

指揮 福島 章恭

ソプラノ 藤崎 美苗
テノール 畑 儀文

カウンターテナー 青木 洋也
バス・バリトン 篠部 信宏

オルケステッラ・デル・ジオルノ (真昼の星オーケストラ)



Photo by H. Takeuchi

バッハの全人生を捧げた音楽様式と技術のすべてを結集したミサ曲
カトリック的な神の讃美と、ルター派的な十字架信仰の世界が、衝撃的に出会う音宇宙

静岡県
富士市文化会館
ロゼシアター大ホール

平成 26 年
2 月 2 日 (日)

開場 : 13 : 00
開演 : 13 : 30

チケット
前売り 2,000 円
当日 2,500 円
ロゼシアターにて販売中

主催 富士ベートーヴェンコーラス
後援 公益財団法人静岡県文化財団
富士市教育委員会

F B C 事務局 0545-67-5017 鈴木
E メール fujico2001@hotmail.com
<http://www.giocities.jp/fujifbc/>

※未就学児を連れての鑑賞はご遠慮ください
※会場へのカメラ・録音機器の持ち込みは固くお断りします
※当日は駐車場の混雑が予想されますので、ご注意ください

バッハの聖地トーマス教会が認め、ライブツィヒの聴衆に受け入れられた魂の指揮者

福島 章恭 指揮



Photo by H.Takeuchi

桐朋学園大学演奏学科声楽専攻卒業。声楽を萩谷納、移川澄也、指揮法を紙谷一衛の諸氏に師事。1996年ベルギー・ナミュールにてベルニウス氏による合唱指揮マスタークラスを受講。現在、東京ジグフェライン、長岡混声合唱団、女声合唱団 KIBI、ヴォイス 2001、HANA ヴォーカル、スウィングロビン指揮者。2004年ウィーン、ザルツブルグにて高田三郎《水のいのち》を現地初演。2005年ブラハ・スメタナホールにてドヴォルザーク《ミサ曲ニ長調》&《水のいのち》、2006年ウィーン・ムジークフェライン大ホールにてモーツァルト《レクイエム》(チェコ・ブラハ管)、2009年ウィーン・シュテファン寺院グランドコンサートにてモーツァルト《レクイエム》を指揮。2010年には、日本人として初めてパチカン・システーナ礼拝堂にて合唱コンサートを指揮。また2013年8月、ライブツィヒ聖トーマス教会にてバッハ「ミサ曲ロ短調」を指揮。聴衆よりスタンディングオベーションにて受け入れられる。音楽評論家として、1994年アリオン賞(現柴田南雄音楽賞)奨励賞(本賞なし)受賞。著書に「新版クラシックCDの名盤」「同 演奏家篇」(宇野功芳・中野雄共著、文春新書)「モーツァルトをCDで究める」「モーツァルト百科全書」「交響曲CD絶対の名盤」「バッハをCDで究める」(毎日新聞社)を上梓。自他ともに認めるアナログ・オーディオマニアでもある。

藤崎 美苗 ソプラノ

岩手大学教育学部、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。東京藝術大学大学院院修士課程独唱科修了、また同大学院古楽科に学ぶ。第10回友愛ドイツ歌曲コンクール第2位入賞。宗教曲や歌曲を中心に活躍している。これまでに J.S. バッハの教会カンタータ、「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、「ミサ曲ロ短調」、「クリスマスオラトリオ」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、フォーレ「レクイエム」、ラター「マニフィカト」等のソロを務める。またバッハ・コレギウム・ジャパンの声楽メンバーとして演奏会や録音に参加しており、ドイツ公演の「ミサ曲ロ短調」や「マニフィカト」、日本では「マタイ受難曲」等でソリストを務めている。京葉混声合唱団、「TRUMP」、湘南veilchen 指揮者。



写真：篠原栄治

青木 洋也 カウンターテナー

東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ傍ら、ボーイ・ソプラノとして東京少年少女合唱隊時代より活躍。東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。宗教音楽を専門とし、J.S. バッハの《マタイ》、《ヨハネ》の両受難曲や、多数のカンタータ、オラトリオの独唱をつとめるなど、現在も着実に国内外での活動の場を広げている。バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加し、2011年ブレーメン音楽祭および2012年ライブツィヒ・バッハ音楽祭での《マタイ受難曲》独唱で好評を得た。2013年12月セカンド・ソロアルバム「夜の祈り」をリリース。近年は、合唱指揮者としても活躍しており、2013年2月ニューヨーク・カーネギーホールにてヴェルディ《レクイエム》(マンハッタン・シンフォニー・オーケストラ)を指揮し喝采を浴びた。また音楽誌上で「隙のない音楽づくりとそのナンバーにふさわしい情景描写の的確さ、声楽・器楽の見事なまとめ方は、彼の適性」とこれまでの経験の基盤がモノを言っている」と高く評価されている。



photo:Shinichi KIDA

畑 儀文 テノール

兵庫県篠山市生まれ。大阪音楽大学大学院修了。1979年大阪にて、小林道夫氏の伴奏による初リサイタルを行う。以後テノールソリストとして、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団ホルン奏者ペーター・ダム氏との共演、イェルク・デームス氏の伴奏による数多くのリサイタル等で大きな成果をおさめた。1991年オランダ・アムステルダムにおいて、バロック歌手として高名な Max van Egmond 氏のもとで研鑽を積む。以後オランダ各地において、受難週には、エヴァンゲリストとして招かれ、近年はドイツ・ライブツィヒにおいてバッハ作品のソロを務める。また1993年～1999年にかけて、シュベルト歌曲全曲演奏を成し遂げ、国内外で話題を集めた。日本コロムビアからCD「日本のうた」「新しい日本のうた」「トスティ歌曲集」「昭和のうた」「美しき水車小屋の娘」をリリースし、その天性の歌声はジャンルを問わず心に響く感動を呼び、注目を集めている。「大阪文化祭本賞」「咲くやこの花賞」「大阪府民劇場賞」「坂井時忠音楽賞」「兵庫県芸術奨励賞」「兵庫県文化賞」等多数の賞を受賞。丹波の森国際音楽祭シュベルトティアードたんば音楽監督関西フィルハーモニー合唱団コア・マイスター。



Photo by
EJI SHINOHARA

写真：篠原栄治

篠部 信宏 バス・バリトン

大阪芸術大学大学院修了。卒業時に学長賞受賞。第1回大阪国際音楽コンクール第3位受賞。2005年より毎年渡欧、オランダにて Max van Egmond 氏のもとで研鑽を積んでいる。宗教曲のソリストとして関西、東京そして日本各地の合唱団に客演。バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「ミサ曲ロ短調」「クリスマスオラトリオ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト、フォーレ、ブラームスの各「レクイエム」、ハイドン「四季」「天地創造」、メンデルスゾーン「エリヤ」「パウロ」、ベートーヴェン「第九」「荘厳ミサ」他多数のバスソロを務める。2009年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティスト。リートでは07年小林道夫氏を迎えシュベルト「白鳥の歌」全曲リサイタル、10年オランダにて PabloEscande 氏とシュマン「詩人の恋」全曲他のリサイタルにて好評を博す。現在、シノベムジクアカデミー代表、京都バッハザリステン所属、フィルハーモニーカンマーアンサンブルメンバー、日本テレマン協会ソリスト。



富士ベートーヴェンコーラス（FBC） 静岡県文化財団主催第26回地域文化活動奨励賞受賞団体

富士ベートーヴェンコーラス：2001年に結成。音楽監督 福島章恭、ピアニスト 杉山倍美の指導のもとに研鑽を積み、ロゼシアターにて6回の自主演奏会を開催しつつ、国内では東京、横浜、海外ではウィーン、ザルツブルグ、ブラハ、パチカン、ライブツィヒ各都市の主要なホール、教会における演奏会に参加しています。2013年にはこれまでの活動が認められ、財団法人静岡県文化財団主催 第26回地域文化活動奨励賞を受賞。今後も国内外の演奏会や一流の音楽家との共演を続けてまいります。2月から新シーズンが始まり、福島先生独自の発声練習と親切的な指導のもと、新たな曲作りに挑戦します。あなたも一緒に第8期演奏会に参加されませんか？